



§ うみがめマリンの大冒険...その旅は... (作成秘話) §

この物語は、今から20年以上も前の20世紀の終わりに、瀬戸内の海に漂っていたウミガメの死骸のお腹から、大量のプラスチックごみが見つかったという実話をもとに作りました。物語では、これを助けて、命拾ったウミガメが、海洋汚染の脅威と海の環境保全の大切さを伝えます。

物語を作るにあたっては、作者が、主人公マリンや登場人物の気持ちで旅することにしました。それでは、マリンの大冒険の旅をご案内しましょう。...

**(マリン誕生)** ここは、ウミガメの産卵地として有名な徳島県美波町の大浜海岸。子供たちと楽しく遊んだのは、美波町から室戸岬に至る海。**(冒険のはじまり)** 当時、徳島～阪神間を走っていたフェリーに乗って子供たちが帰るイメージ。そして、船を追いかけることに。**(がんばって泳ぐ)** いよいよ紀伊水道から紀淡海峡へ。大阪湾へ向かう多くの船に追い越されながら一生懸命泳ぎます。

**(おなかがへった)** 大阪湾に入って北上し、**(マリンピンチ)** 神戸沖で事件に遭います。そして海上保安庁の巡視艇に助けられ、神戸港に運ばれます。**(まちがえて食べた)** 緊急手術を受けて命拾ったマリンが須磨水族園に保護されて元気になった頃、**(おねがい)** 徳島の海で一緒に楽しく遊んだ子供たちが、マリンを見舞います。そこで、海の汚染の脅威を伝えます。**(うみどりたちのこと)** 治療中に知った友達の海鳥ピーコのマイクロプラスチック被害、その現場は、マリンの通り道にあった淡路島南端に浮かぶ沼島の南の断崖。「うみがめマリン」や「うみどりピーコ」のプラスチック被害を知って、世界中の人たちが、海を汚さない取り組みを始めました。...

～未来に残そう青い海～